

# 魔法少女の

# 調教遊戯



「アベンジャール」のカードを回収して数日の事…  
美遊の身体にはあきらかな異変が起きていた… 体がほてり、  
息を荒立てる…、どす黒くも淫靡な感情が湧きだつたのだった。  
この途方もない感情を速やかに処理すべく…  
エーデルフェルト家の地下、使われていなかったはずの倉庫は…  
いまは美遊によって奴隷の飼育小屋として利用されるのだった…

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止



「喜んで、お前はこの美遊さまの一人目の奴隷になったの♡  
今日から私がお前のこと、飽きるまでいっっぱい  
かわいがってあげる♡フッフ、もしかして変態なの？  
あそこがもう硬くなってるわ、おもしろーい♡  
じゃあ、毎日楽しませてもらうから、覚悟してね♡」



「まあまあ、私のパンツ見て興奮してるの？ 変態ですね♡  
これは立場がまだわかってないようね♡ じゃあ念入りにお仕置きします♡  
ほらほら、どう？ どう？ ○学生にチ○コふまれてどんな気分？  
フッフ♡  
こんなに硬くそそり立たせて…自分の大事な所踏まれるのに興奮してるの？  
変態♡変態♡変態♡♡フッフ、正直引いたわ♡」



「はい♡ どつぱぁーん♡ わぁぁ♡ こんなに出して…♡  
そんなに気持ちよかったの？  
○学生にチ○コ踏まれて気持ちよかったんだぁ♡ 信じられないほどクズですね  
クスクスクス、ほんとダメち○ぽ♡  
このイキやすいち○ぽにこれからみっちり私のルールを  
刻みこんであげるから♡ フッフ、なに？ 嬉しいの？ キモい♡」

あそび♡

ドクッ♡

お尻♡

♡ちゅ♡

ああん♡

ああん♡

「体育で汗かいちゃった♡ フフフフ、私の汗かき蒸れま〇こ♡  
そんなに美味しいですか？ 夢中で舐めてる♡  
もっと綺麗に舐めなさい♡ もっと優しく、がつつかないの！  
いや♡ 鼻息があたってくすぐったいわ♡ もうダメ奴隷ね♡  
しつけ直さないとダメみたい♡ ああん♡」

むれ♡♡

むれ♡♡

ああん♡

ああん♡

ああん♡

ああん♡

あま〜あま〜

ムムムム

ニニニニ

びぢやびぢ  
びぢやびぢ  
びぢやびぢ

「ひゃあーん♥ ああーああ…♥ ああ〜あ♥♥♥  
お前のせいでお潮もらしちゃった♥♥♥♥♥  
何うれしそうな顔してるのですか？ このクズ奴隷♥♥♥  
いいからはやく舐め取りなさい♥♥♥♥♥  
それがお前の仕事でしょ？ ぶぶぶぶぶぶ♥♥♥♥♥」





「どう？ 今日プールの授業抜けだして、様子  
見に来てやったのよ？ 嬉しいでしょ♡  
あらあら、待ってられたの？おりこうさん♡♡  
じゃあご褒美あげちゃう♡  
ほら、すべてでキモチイでしょ？ フフフ♡  
でも出しちゃダメよ？ 我慢できたらもっごとご  
褒美あげる♡」



あゝあゝあゝ!!

「あゝららー♥ 残念、結構頑張ったみたいだ  
けど、あと一歩だったね♥♥♥♥♥  
ダメ奴隷は刺激が強すぎたかしら? だって  
お前はドMですものね♥♥♥♥♥  
また今度頑張りなさい♥♥♥♥♥ そしたら……  
もっといい「ト」してあげる♥」



フフフ……♡♡♡

♡♡♡

くちゅ♡♡

くちゅ♡

くちゅ♡

「ルヴィアさんの趣味でこんな服着せられちゃった♡  
そう、バニーガールだって、フフフどう似合う？　ねえ知ってる？  
うさぎってすごく性欲が強い生き物らしいの♡  
ふふふ、私もこんな格好したら、変な気分になっちゃった♡  
だから特別♡　今日はお前のチ○コを使ってあげる♡  
美遊さまの○学生ま○こが味わえるのよ？　光栄に思いなさい♡」



ああん

ああん

ドク  
ドク  
ドク  
ドク  
ドク

「ああん♡♡♡ 膣内で大きくするなあ♡♡♡ ああん♡♡♡♡♡  
ほら、もっと腰動かして♡♡♡ もっと気持ちよくなりたいの♡  
ああん♡♡♡♡♡ だめ、もっとです♡♡♡♡♡ ああん♡♡♡♡♡  
ふふふ♡♡♡ ビュービューって、いっぱい出ましたねえ♡♡♡♡♡  
あなたのを一滴残らず絞り尽くして♡♡♡♡♡  
何も考えられない変態奴隷にしてあげるから♡♡♡♡♡♡♡♡♡」



あはは

ああん

あはは

ああん

ギョッ

ギョッ

ドクッ

ドクッ

「ああん♥ いいですねその調子その調子♥  
子宮の奥まで当たってる♥  
ああん、癖になりそう♥ 突き上げられてオナカがボコって  
フッフ、お前ってチ○ポだけは  
立派なのね♥ ほんと宝の持ち腐れ♥ なに？  
けない顔して、イキそうなの？  
じゃあまたビューってしてみて♥ ビューって♥  
さあ、早く出しなさい♥  
じゃないとオチンコ離してあげないから♥」



男の精液を絞りこみ、た美遊は、不気味に輝いていた  
魔の呪印が光を増す。光は美遊を包み込むと怪しい  
黒い光を放つ。光がおさまるまで黒化した姿を現した。  
妖艶に笑うその姿は、怪しくも美しく  
そして淫靡で、淫靡で、妖艶で、卑猥で、  
……神々しかった。





「んんんん♥ ああ、なぜだかすごくいい気分です♥♥♥♥♥  
ふふふ、どうしたの？私の姿に見とれた♥♥♥♥♥  
クスクス、ち○ぽ硬くなってる♥♥♥♥♥  
お前ってばわかりやすいやつね♥ いいわ、じゃあ今まで以上に  
遊んであげる、あたし今身体が火照ってしょうがないの♥  
だからー、簡単に気絶とかしたら許さないから、  
そのつもりでいてね？ ふふふ♥♥♥♥♥ふふふふふふふふふふ♥♥♥♥♥」



「はいはぁーい、みんながんばって

ザーメン射精んですよー♡ ふふふふ♡♡♡♡♡

こら、奴隷4号！ 私の身体にかけろって言ったわよね？

何外してるのよ？ 2号みたいに捨てちゃうわよ♡

しかしみんなよくもまあ○学生にいいようにされちゃう変

態ばかりこんな集まったものね♡♡♡♡♡

カッコ悪いですね♡♡♡♡♡ ふふふ♡♡♡♡♡」

「フフフ、グズぼっかりね♥  
あなたたちみたいなのダメ奴隷はこのミウ様が、  
死ぬまでめんどうみてあげる♥♥  
だからたくさん射精しなさい♥♥♥♥♥  
私が全部絞りとってあげる♥♥♥♥♥  
何度だも…何度でも♥♥♥♥♥」

薄暗くあやしい屋敷の地下で、美遊による淫靡で甘美で  
淫猥な宴は今夜も続いたのであった………

- 発行 女騎士の城 ナイト  
<http://knightmaster.kir.jp/>  
general@kagoya.net
- 作成 スズネ屋によろこそ 送り萬都
- 印刷 プリントネット
- 日付 2015年8月16日
- 18歳未満の購読+無断転載禁止